

合併前の六瀬村役場



合併前の中谷村役場

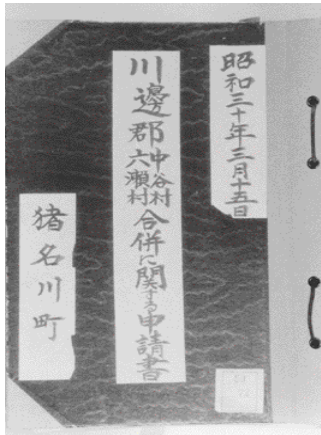


猪名川町のなりたち

私達のまちは、古くから農耕・狩猟などが営まれ、高僧行基が楊津院を建立以来歴史的にその名をとどめることとなり、近世に入り、江戸幕府の直領となり銀山を中心に繁栄しました。

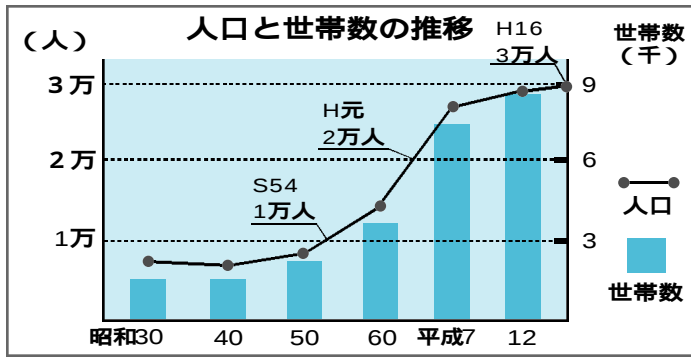
明治4年(1871年)の廃藩置県により、この地域一帯は兵庫県となりました。

明治2年(1868年)の市町村制の公布にもない、明治22年(1889年)に中谷村、六瀬村が創設され、その後、昭和30年(1955年)



昭和30年合併に関する書類

4月10日、両村の合併により猪名川町が誕生しました。猪名川町の50年間のあゆみを振り返ってみると、その確かなまちの成長として、道路や公園などの都市基盤や教育・文化・福祉施設の整備などに積極的に取り組むとともに、恵まれた自然環境をいかした阪神地域の憩いのまちとして礎を築いてきた道筋が見えてくるのではないのでしょうか。



猪名川町のあゆみ

歴史年表

< < 昭和30年代 > >

昭和30年4月 中谷村・六瀬村の二村が合併し、猪名川町となる

昭和32年4月 猪名川溪谷が県立自然公園に指定

昭和34年6月 広根派出所が完成

昭和36年5月 銀山の日本鉱業採鉱、阪急バス柏原乗り入れ

昭和37年4月 県立川西高校猪名川分校が開校、町章の制定

昭和37年10月 猪名川町商工会が発足

昭和39年10月 杉生山仁地区に電気が開通

< < 昭和40年代 > >

昭和42年5月 学校給食センターが開所

昭和43年11月 第1回いながわまつり開催

昭和44年5月 木津以南4,952ヘクタールを都市計画区域に指定

昭和45年1月 ゴミ収集を開始

昭和45年6月 山陽自然歩道の開通

昭和45年10月 木津以南市街化調整区域に指定

昭和46年3月 町振興計画まとまる

昭和46年4月 町花ツツジ、町木マツに決まる、町民会館の完成

昭和46年8月 南北学校プールの開設

昭和48年6月 銀山日本鉱業が休山

昭和49年4月 南保育所が開設



昭和40年代の田植え作業

昭和49年7月 ゴミ焼却場が開設

昭和49年10月 万善浄水場が完成し、上水道の給水開始

< < 昭和50年代 > >

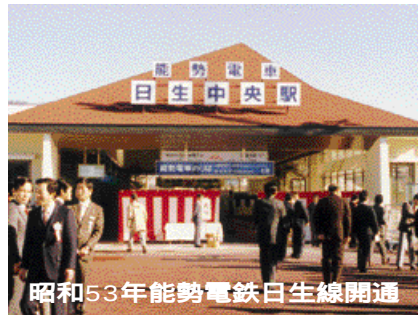
昭和50年4月 県立猪名川高校として独立

昭和50年5月 阪急日生ニュータウン入居開始

昭和51年4月 木津総合会館が完成

昭和53年4月 松尾台小学校が開校

昭和53年12月 能勢電鉄日生線が開通



昭和53年能勢電鉄日生線開通

昭和54年1月 人口1万人を突破

昭和54年4月 町営火葬場が完成

昭和54年5月 戸隠神社(肝川)が国の重要文化財に指定

昭和54年11月 町民憲章決まる

昭和55年3月 松尾台幼稚園が完成

昭和55年4月 第二次町振興計画がスタート

昭和55年11月 阪神間都市計画の変更により、一部市街化区域となる

昭和56年7月 町公共下水道工事に着手

昭和57年12月 町公共下水道通水

昭和58年3月 伏見池公園が完成

昭和58年4月 ふるさと館が完成

昭和59年4月 六瀬住民センターが完成

昭和59年10月 スポーツグラウンドが完成、静思館(旧富田邸)が開館

< < 昭和60年代 > >

昭和61年2月 杉生診療所が開設

昭和61年4月 保健センターが完成

昭和61年7月 日生中央センタービルが完成、日生住民センター・日生公民館が開所

昭和62年4月 クリーンセンターが完成

昭和63年8月 オーストラリア・ビクトリア州バララット市と姉妹都市提携

< < 平成 > >

平成元年7月 人口2万人を突破

彫刻の道が建設省「ふるさと郷土賞受賞」

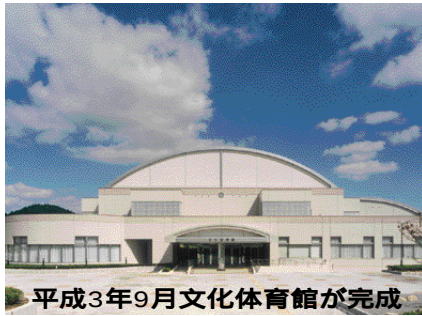
平成元年9月 核兵器廃絶の町宣言

平成元年12月 第三次町総合計画を答申

平成2年3月 し尿処理施設が完成

平成2年4月 町消防本部・署がスタート、猪名川中学校が開校

平成3年9月 文化体育館が完成



平成3年9月文化体育館が完成

平成4年9月 県立奥猪名健康の郷がオープン

平成5年2月 消防署北出張所が完成

平成5年4月 白金小学校が開校

平成6年3月 猪名川保育園が開園

平成6年11月 猪名川福祉公社設立

平成7年10月 ゆうあいセンターが完成

平成8年3月 生涯学習センター(図書館・中央公民館)が開館

平成9年6月 日生中央駅前駐輪場が完成

平成9年12月 総合公園が全面完成

平成10年4月 勤労者総合スポーツ施設(体育館)が完成、つつじが丘小学校が開校

平成11年4月 木喰仏が県文化財に指定

平成11年11月 第四次町総合計画を策定

平成12年4月 ふれあいバス、イナくるっと号運行開始

平成12年5月 里山林「朽原めぐみの森」オープン

平成12年10月 日生中央駅前情報プラザオープン

平成12年11月 道の駅いながわオープン

平成13年8月 B & G財団猪名川海洋センター(温水プール)オープン

平成14年3月 大島であい公園が完成、川西篠山線猪名川バイパス開通、天体観測施設「猪名川天文台アストロピア」が完成

平成14年7月 ISO14001認証取得

平成16年4月 障害者福祉センターが完成

平成16年4月 道の駅いながわりニューアルグランドオープン

平成16年10月 人口3万人を突破

平成17年4月 町制施行50周年

これからの猪名川町

これまでに築いてきた、阪神地域の憩いの空間として、都市近郊の豊かな自然や伝統ある生活文化をいかすとともに、これらが豊かに息づき、やさしくとけあう中において、住民相互のコミュニティの醸成や、ふれあい、そして身近なふるさととして、「いつまでも住み続けたい、何度も訪れてみたい」と思える魅力あるまちづくりをさらに進めていきます。

本町の将来像である「人と自然がやさしくとけあい、未来に輝くふるさと猪名川」の実現に向けたまちづくりこそが、これから猪名川町がめざしていくまちづくりです。